

World News

ロケット関連ニュース

1. H- A ロケット試験機2号機の 打ち上げ成功

2月4日に種子島宇宙センターからH- Aロケット試験機2号機が打ち上げられた。試験機2号機は主エンジン LE-7A 及び固体補助ロケット(SSB) 4本を装着し打上げ推力を増強したもので、複数衛星打ち上げも目的にしている。ロケットは順調に飛翔し

2段目のLE-5Bの再々着火実験なども予定通り終了し、将来のH- A 実用化に向けて試験機としての飛行性能が確認された。



H- A 試験機 2 号機 NASDA 提供

試験機2号機には2機の衛星が搭載されました。衛星は地球再突入技術確認実験衛星「DASH」及び民生部品・コンポーネント実証衛星「MDS-1」の2機で、リフトオフ後30分にDASHに分離許可信号を送ったもの、DASH分離の信号が確認されませんでした。(宇宙科学研究所内調査委員会の調査でDASH内信号伝送ケーブルの誤配線で分離信号不伝達と特定された)その後、下部フェアリング(アダプタ部)を分離し、リフトオフ後46分51秒に、MDS-1を予定した軌道に投入することに成功し、愛称「つばさ」と命名されました。

NASDA 2002年2月27日プレスリリース記事

2. デルタ イリジウム衛星群に追加の衛星 5機を打上げ。

SEAL BEACH、カリフォルニア、2002年2月11日(月)午前9時44分太平洋標準時(PST)に、Vandenberg 空軍基地から Boeing デルタ II ロケットによって、イリジウム衛星群に最新の追加衛星5機を打ち上げた。

5機の衛星は、イリジウム衛星が提供しているLEO 衛星世界通信ネットワークのための予備機である。今回の打上げは、デルタロケットの2002年の最初の打上げであり、1989年以来101番目のデルタロケット打上げになる。5機の衛星は、62分の周回軌道で他の4衛星とは23分の間隔で配置された。Jay Witzling、副社長兼デルタおよびタイタン プログラムマネージャ代理は、「我々は1990年代初頭からイリジウムとチームを組み、打上げを担当してきた。ここにまたイリジウム衛星群に追加の衛星を加えられたことに誇りを持っている。私は何年もの間このビジネスに携わり



Delta ロケット Boeing 社提供

多くの打ち上げを見たけれども、顧客の衛星を適切な軌道に投入する事は何度見ても、スリルがある。」と喜びを表明した。

現在までに、Boeing デルタ II 打ち上げロケットは、1997 年 5 月の最初の衛星打ち上げから 60 機のイリジウム衛星を軌道に配置した。イリジウムは、現在多年契約で合衆国国防省へのサービスを提供すると共に、世界的にそのサービスを販売及び支援する 20 以上のサービスパートナーとビジネスを展開している。2000 年 12 月に、イリジウム衛星 LLC 会社は、衛星群、地上ネットワーク、イリジウム不動産、およびイリジウム LLC 会社の総資産を引き継いでいる。

Boeing 社 2002 年 2 月 11 日プレスリリース記事

衛星関連ニュース

1. Boeing Satellite Systems(BSS)製造の JCSAT-8 及び ASTRA 3A が完成

-Boeing は、3月中旬に Ariane 4 ロケットの Dual Launch で打上げ予定の 2 機の衛星 JCSAT-8 及び ASTRA 3A が完成し、アリアン 4 ロケットで Dual Launch で打上げのため、フランス領ギアナのスペースセンターに向けて衛星を発送した。ギアナのスペースセンターで、追加の試験及び打ち上げ準備を実施した後、アリアンスペース社のアリアン 4 ロケットで 3 月 28 日に静止軌道への打ち上げをスケジューリングされている。JCSAT-8 は JSAT 社の衛星で、ASTRA 3A はルクセンブルクに本社を置く SES ASTRA 社の衛星である。Boeing として同社の 2 機の衛星を同一ロケットで打ち上げるのは 5 年間で最初の試みである。

Randy Brinkley、Boeing Satellite Systems の社長は、「我々の最後の Dual Launch は 1996 年であった。Dual Launch を同一のロケットで、2 つの異なる顧客の衛星の製造が出来たのは、私達の工場、顧客、およびロケット会社との、綿密な、高度な調整努力の結果として出来たものである」とコメントをしています。

JCSAT-8 は、Boeing601 の 62 番目の衛星で現在までに 84 機の衛星の注文を受けている。Boeing601 は世界で最も多くの購入された衛星です。JCSAT-8 は、JSAT 社へ Boeing 社が納入した Boeing601 の 5 番目の衛星となる。また、Boeing が納入した JSAT 社の 7 番目衛星となる。JCSAT-8 は、Ku バンド及び C バンドの中継器をそれぞれ 16 本搭載し、東経 154 度の静止軌道から、日本、東アジア、オーストラリア、およびハワイで通信サービスを提供する。ASTRA 3A は、製造された Boeing376 衛

星の 56 番目となる。Boeing376 は、現在までに 57 機を受注している。ASTRA 3A は、SES ASTRA へ納入した 2 番目の Boeing376 衛星であり、また Boeing 社が同社に製造した 10 番目の衛星である。ASTRA 3A は、Ku バンド中継器を 20 本搭載し、東経 23.5 度からデジタル衛星サービスを提供する予定である。

Boeing 社 2002 年 3 月 6 日プレスリリース記事

2. 国際民事調停裁判所は SS/と ALCATEL 間の協定満了を支持する判決を下した。

-2月25日、ロラール・スペース&コミュニケーションズ社(SS/L)は、スイス・ジュネーブに本部を置く国際民事調停裁判所によって、衛星製造ビジネスに関するアルカテル・スペース社 Alcatel)との協定(有効期限 2002 年 2 月 22 日)満了の妥当性を支持する判決を下したと発表した。

Alcatel と SS/L の間の衛星製造ビジネスに関する協定は、SS/L が 2002 年 2 月 22 日に協定が満了になる事を Alcatel に通知した 2001 年 2 月 22 日から 1 年目に破棄された。Alcatel はこの通知が有効でないと主張したが、裁判所はこの問題において SS/L に好意的であった。調停において、様々な違反があったとの Alcatel の主張が支持されました。また、Alcatel は、一定の手続に従った情報交換に関連する条項あるいは管理条項が Loral によって違反されたと主張した。それに対し、Loral は、Alcatel の損害賠償の要求がまったくメ리트の無いものであると信じていると述べている。裁判所は後日、それらの違反が損害賠償当たるかどうかを決めることになる。

ロラール社 2002 年 2 月 25 日プレスリリース記事

2. ロッキード社で NSS-7 衛星が完成し フランス領ギアナ宇宙センターに出荷

-New Skies Satellites N.V.社に対しロッキード社(LMCSS)によって設計、製造された NSS-7 通信衛星は、カリフォルニア州サニエーベル工場からフランス領ギアナ宇宙センターに向けて出荷された。打上げは 4 月中旬にスケジュールされている。



A2100 衛星

LMCSS 社提供

NSS-7 は、ビデオ配信、インターネットアクセス、ビジネスネットワークおよび電話及びデータ通信サービスを提供する Ku バンドと C バンドのハイブリッド通信衛星である。衛星は LMCSS の機能強化型 A2100AX 衛星バスで、大西洋上の東経 338.5 度の静止軌道に配置される予定で、72 のトランスポンダを搭載し、ヨーロッパ、アフリカ及びアメリカにサービスを提供する。この衛星は NSS-K 衛星と NSS-803 衛星の置換えとなる。NSS-7 衛星は 11 のハイパワービームでマーケットの需要に対応する。ビーム間及び周波数バンド間の広範囲な切り換え機能は、大西洋地域のインターネットとビデオ・デマンドに的確に対応することが可能である。また、NSS-7 衛星は

高出力ダウンリンクパワーの為、インターネットとデータサービスの配信に対し、より小さく、より実用的な受信設備を可能にした。衛星は軌道上引渡しの後、オランダ・ハーグにある New Skies Satellite N.V. 社によって運用される。

LMCSS 社 2002 年 3 月 20 日プレスリリース記事